

パネルディスカッション概要

本シンポジウムでは、日本語教育における代表的な日本語教科書執筆者および教科書の活用人にお集まりいただき、教科書がこれまで何を指してきたのか、そして今後、何を指すのかなどのテーマについて、パネルディスカッションを行う。パネルディスカッションは、それぞれの教科書の開発理念や活用法をパネリストから提示したのち、日本語の教科書の歴史的な背景や現場の状況など様々な視点を交えながら、日本語教科書のあり方について参加者全体で議論を行う。

これまで日本語の教科書が目指している理念については、個々の教科書で議論されてきた。本企画は教科書執筆者と活用人が一堂に会することで、より大きな枠組みで日本語の教科書が目指すものについて議論する。また、執筆者および活用人がその理念を語り合うことで、教科書を活用する多くの現場の日本語教授者にとっても「日本語を教えるとはどういうことか」を考える機会を提供する。

アクセス

つくば駅（A1, A2 出口）から筑波大学春日エリア（茨城県つくば市春日 1-2）徒歩で約 10 分です。



<鉄道>

秋葉原からつくばエクスプレス快速に乗ると 45 分で「つくば駅」に到着します。



<高速バス>

東京駅八重洲南口高速バスターミナル発「つくばセンター・筑波大学」行きに乗ると、約 70 分で「つくばセンター」（つくば駅）に到着します。



<飛行機>

羽田空港からは高速バスで、成田空港からはバスで「つくばセンター」（つくば駅）まで約 100 分です。



お願い

当日は参加者の皆さまからの質問を中心にディスカッションを深めて参りたいと考えております。事前資料（参加申し込みページ参照）をお読みいただき、参加申し込みと合わせてご質問をお寄せ頂きますよう、よろしくお願いいたします。